



岩手労働局発表
平成29年4月14日

【照会先】

岩手労働局労働基準部健康安全課
課長 小田 昭信
主任衛生専門官 福田 利文
(電話) 019 - 604 - 3007

平成28年の年間(確定値)及び平成29年1月～3月分(速報値)の 労働災害発生状況を公表します

～平成28年の死傷者数は、前年比0.8%減と2年連続減少～
～平成29年(1月～3月)の死傷者数は、前年同期比5.4%の増加～

岩手労働局(局長 久古谷 敏行)は、平成28年及び平成29年3月の県内の全業種における労働災害による死傷者数(休業4日以上)及び死亡者数の状況を取りまとめました。

平成28年の死傷者数(確定値)は1,305人となり、前年比で11人(0.8%)減少し、2年連続で減少しました。死亡者数(確定値)は19人と前年比で2人減少し、同じく2年連続で減少しました。

平成29年1月～3月(3月末現在の速報値)の死傷者数は294人となり、前年同期比で15人(5.4%)の増加、死亡者数は3人と前年同期比で2人の減少となっています。

(業種別等の発生状況は以下のとおりとなっています。)

平成28年1月から12月末までの労働災害発生状況(確定値)

1 死傷災害(休業4日以上) 【表1】(P.3)【グラフ1】(P.9)【グラフ2】(P.10)

(1) 全業種合計

全業種合計の死傷者数は1,305人で、前年比で11人(0.8%)減少し、2年連続で減少しました。

(2) 業種別の状況

前年比で増加した業種は、「商業」181人(前年比+27人、+17.5%)、「農林業」77人(同+18人、+30.5%)、「保健衛生業」110人(同+14人、+14.6%)、「接客娯楽業」76人(同+4人、+5.6%)などとなっています。

前年比で減少した業種は、「運輸交通業」132人（前年比 - 27人、- 16.9%）、「畜産・水産業」42人（同 - 19人、- 31.1%）、「製造業」281人（同 - 17人、- 5.7%）、「通信業」17人（同 - 10人、- 37.0%）、「建設業」263人（同 - 4人、- 1.5%）などとなっています。

(3) 事故の型別状況

全業種において、最も多い事故の型は「転倒」によるもので、309人(23.7%)となっています。次いで、「墜落・転落」によるものが、248人(19.0%)、「はさまれ、巻き込まれ」150人(11.5%)の順となっています。

2 死亡災害 【表2】(P.4) 【表3】(P.5)

(1) 全業種合計

全業種合計の死亡者数は19人で、前年比で2人(9.5%)減少しました。

(2) 業種別の状況

業種別では、「建設業」が7人と最も多く、「農林業」が5人、「製造業」が3人、「商業」が2人、「運輸交通業」1人などとなっています。

平成29年1月～3月の労働災害発生状況（平成29年3月末現在 速報値）

1 死傷災害（休業4日以上） 【表4】(P.6) 【グラフ3】(P.11) 【グラフ4】(P.12)

(1) 全業種合計

全業種合計の死傷者数は294人で、前年同期比で15人、5.4%の増加となっています。

(2) 業種別の状況

前年同期比で増加した業種は、「保健衛生業」33人（前年同期比 + 12人、+ 57.1%）、「製造業」67人（同 + 6人、+ 9.8%）、「運輸交通業」28人（同 + 3人、+ 12.0%）などとなっています。

前年同期比で減少した業種は、「接客娯楽業」14人（前年同期比 - 6人、- 30.0%）、「建設業」54人（同 - 3人、- 5.3%）などとなっています。

(3) 事故の型別状況

全業種において、最も多い事故の型は「転倒」によるもので、110人(37.4%)となっています。次いで、「墜落・転落」によるものが、38人(12.9%)、「はさまれ・巻き込まれ」34人(11.6%)となっています。

2 死亡災害 【表5】(P.7) 【表6】(P.8)

(1) 全業種合計の死亡者数は3人で、前年同期比（3月31日までに報告のあった人数）で2人(40.0%)の減少となっています。

(2) 業種別の状況

業種別では、「建設業」、「農林業」、「接客娯楽業」で各1人となっています。

【表1】

平成28年 1月～12月 労働災害発生状況(休業4日以上)の死傷者数(確定値)

岩手労働局

業種	岩手局				盛岡署	宮古署	釜石署	花巻署	一関署	大船渡署	二戸署	
	28年	27年	増減数	増減率								
製造業	食料品	23	31 (2)	-8	-25.8%		6	7	1		6	3
	上記以外の食料品	81	103 (1)	-22	-21.4%	38	1	1	22	4	3	12
	繊維・衣服その他繊維製品	13	8	5	62.5%	2			6	2		3
	木材・木製品、家具・装備品	35	42	-7	-16.7%	9	9	1	4	1	4	7
	パルプ・紙、印刷・製本	2	5	-3	-60.0%	1			1			
	化学工業	22	13	9	69.2%	4			8	5	2	3
	窯業土石製品	18 (1)	13	5	38.5%	1	2	2	2	7	2	2
	鉄鋼業、非鉄金属	9	5	4	80.0%	1	2	1	4	1		
	金属製品	31 (1)	25	6	24.0%	1	2	2	12	14		
	一般機械器具	8	12	-4	-33.3%	2		1	4	1		
	電気機械器具	7	15	-8	-53.3%	1	2		2	1	1	
	輸送用機械製造	15	5	10	200.0%	2		1	7	3	2	
	電気・ガス	2 (1)		2					2			
	その他の製造業	15	21	-6	-28.6%	6		1	3	3		2
小計	281 (3)	298 (3)	-17	-5.7%	68	24	17	78	42	20	32	
鉱業	7	7		0.0%		2		2	1	1	1	
建設業	土木工事	82 (10)	90 (7)	-8	-8.9%	22	13	9	6	9	8	15
	鉄骨・鉄筋家屋	29 (2)	25 (3)	4	16.0%	4	2	7	7	2	1	6
	建築工事	88	63 (2)	25	39.7%	20	7	8	18	9	13	13
	その他の建築工事	32 (5)	60 (2)	-28	-46.7%	12	1	3	12	2	1	1
	その他の建設	32 (2)	29 (1)	3	10.3%	16	1	2	2	1	5	5
小計	263 (19)	267 (15)	-4	-1.5%	74	24	29	45	23	28	40	
運輸交通業	道路貨物運送業	121 (10)	142 (11)	-21	-14.8%	48	2	6	33	14	4	14
	その他の運輸交通業	11	17 (1)	-6	-35.3%	6		1	3	1		
貨物取扱	1	2	-2	-100.0%				1				
農林業	農業	17	4	13	325.0%	4		1	8	2	1	1
	林業	60	55	5	9.1%	18	7	2	3	10	4	16
畜産水産業	畜産業	30	42	-12	-28.6%	13			7	7	1	2
	水産業	12	19	-7	-36.8%		3	2			3	4
商業	小売業	136 (15)	118 (12)	18	15.3%	56	9	8	33	18	8	4
	その他の商業	45 (4)	36 (4)	9	25.0%	23	3	3	10	3	2	1
通信業	17 (4)	27 (11)	-10	-37.0%	5		2	1	5	1	3	
保健衛生業	社会福祉施設	92 (4)	65 (3)	27	41.5%	30	6	7	29	12	3	5
	その他の保健衛生業	18	31	-13	-41.9%	7	1	2	4	1	2	1
接客娯楽業	旅館業	25	16 (1)	9	56.3%	10	3	1	6	4		1
	飲食店	30	34	-4	-11.8%	14		4	5	4	3	
	その他の接客娯楽業	21	22	-1	-4.5%	13			4		1	3
その他	ビルメンテナンス業	26	33 (1)	-7	-21.2%	14	1	1	6	3	1	
	その他(上記以外の業種)	92 (9)	81 (11)	11	13.6%	36	4	4	20	10	1	17
合計	1,305 (68)	② 1,316 (73)	-11	-0.8%	439	89	90	298	160	84	145	
(注) 平成29年3月末の確定値である。					前年同期	473	87	82	316	130	98	130
数字は死亡者数(内数)、()数字は交通労働災害(内数)である。					増減数	-34	2	8	-18	30	-14	15
					増減率	-7.2%	2.3%	9.8%	-5.7%	23.1%	-14.3%	11.5%

【表2】

平成28年 死亡災害発生状況 (確定値)

岩手労働局

番号	署別	業種	発生日	性別	年齢 (経験期間)	事故の型	起因物	災害発生の概要	
1	二戸	商業 (燃料小売業)	1月	日	男	30歳代 (10年以上 20年未満)	破裂	トラック	ダンプトラックにタイヤを取り付ける作業中、タイヤのチューブが破裂、サイドリングが吹き飛び、被災者の頭部に激突した。
2	一関	製造業 (その他の製造業 -その他)	2月	水	男	30歳代 (1年未満)	はさまれ、 巻き込まれ	コンベヤー	チップふるい機の始業前点検中、ベルトコンベヤーのテールローラー部に巻き込まれた。
3	大船渡	建設業 (木造家屋建築工事業)	2月	水	男	70歳代 (50年以上 60年未満)	墜落、 転落	作業床、 歩み板	資材を覆うブルーシートをロープで縛る作業をしていたところ、よろけて敷地端部の土止擁壁から足を踏み外し、約1.8m下の道路に墜落、アスファルト路面に頭を打った。搬送先の病院で2週間後に死亡した。
4	二戸	農林業 (木材伐出業)	3月	水	男	60歳代 (30年以上 40年未満)	激突され	伐木等機械	民有林の皆伐作業現場で、原木(長さ約14m、末口直径約15cm)を移動させるため、グラブ機で原木を掴んで旋回させたところ、歩いていた被災者の頭部に原木の末口が激突した。
5	大船渡	建設業 (橋梁建設工事業)	3月	水	男	40歳代 (20年以上 30年未満)	その他	起因物なし	現場事務所で事務作業をしていたところ倒れ、搬送先の病院で死亡が確認された。長時間の時間外労働により、過重負荷が高かった。
6	釜石	製造業 (その他の 金属製品製造業)	3月	金	男	50歳代 (30年以上 40年未満)	はさまれ、 巻き込まれ	掘削用機械	作業中のドラグ・ショベルの脇で鉄柵を番線で結束する作業を行っていたところ、ドラグ・ショベルが旋回し、ドラグショベルの上部旋回体と鉄柵の間に挟まれた。
7	二戸	農林業 (農業)	4月	木	男	40歳代 (1年以上 10年未満)	飛来、 落下	立木等	事業場の敷地内において、木の伐採作業中、地上4mの高さに切れ目を入れた状態で伐倒方向を選定していたところ、伐倒木(長さ16m、胸高直径29cm)が倒れてきて、被災者に激突した。
8	花巻	その他の事業 (その他)	5月	月	男	50歳代 (1年以上 10年未満)	交通事故 (道路)	乗用車、 バス、バイク	業務により車を運転中、被災者の運転する車が対向車線に進入し、対向車の大型トラックと正面衝突した。
9	二戸	建設業 (トンネル建設工事業)	5月	金	男	60歳代 (10年以上 20年未満)	はさまれ、 巻き込まれ	整地・運搬・ 積み込み用 機械	トンネル内において、被災者が発破後の切羽を点検した後、切り羽から坑口に向かって歩いていたところ、切り羽から坑口方向に後進してきたホイールローダに轢かれた。
10	釜石	農林業 (木材伐出業)	5月	金	男	60歳代 (30年以上 40年未満)	激突され	立木等	樹高20m、直径26cmの松の木をチェーンソーで伐倒したところ、伐倒した木が、既に倒れていた木の上で跳ね上がり、被災者の腹部に激突した。
11	花巻	建設業 (鉄骨・鉄筋コンクリート造 家屋建築工事業)	6月	水	男	30歳代 (10年以上 20年未満)	墜落、 転落	建築物、 構築物	工場の新築工事現場にて、建屋3階の天井クレーンを設置する作業中、高さ5.4mのH鋼上から床面まで墜落した。
12	盛岡	運輸交通業 (一般貨物自動車運送業)	6月	金	男	50歳代 (30年以上 40年未満)	墜落、 転落	フォークリフト	大型バスの窓枠を修繕するため、フォークリフトでパレットを高さ2m20cmまで上げ、その上に乗って作業を行った。作業終了後、他の労働者に命じて、フォークリフトを後退させたところ、パレットから墜落した。
13	二戸	建設業 (鉄骨・鉄筋コンクリート造 家屋建築工事業)	6月	月	男	60歳代 (1年以上 10年未満)	墜落、 転落	はしご等	2階建て建築物の解体工事において、脚立に上がり1階天井の筋交いを取り外し脚立をおりる際、脚立から転落した。
14	二戸	建設業 (機械器具設置工事業)	7月	金	男	20歳代 (1年以上 10年未満)	激突	ボイラー	ボイラーの定期点検中、蒸気ドラム(直径1.6m、長さ7.2m)内の状況を確認するため、マンホール(直径38cm)を開放したところ、ドラム内部に吸い込まれ、ドラム内壁に激突した。
15	花巻	商業 (自動車小売業)	8月	日	男	20歳代 (1年以上 10年未満)	高温・低温の 物との接触	高温・低温環境	屋外の展示場における洗車・清掃等の作業中に頭痛を発症し、帰宅後、就寝したが、死亡した状態で翌朝発見され、死因は熱中症とされたもの。
16	花巻	農林業 (農業)	9月	金	男	70歳代 (10年以上 20年未満)	墜落、 転落	はしご等	個人宅の庭木の剪定作業中、三脚脚立(長さ298cm)を枝に立てかけ作業を行っていたところ、枝が折れて玄関入り口のコンクリートに転落した。
17	宮古	建設業 (トンネル建設工事業)	10月	木	男	30歳代 (20年以上 30年未満)	崩壊、 倒壊	荷姿の物	隣接するずい道を閉塞するため、坑口に木製型枠を組み立て、大型土嚢(5段)を置き、大型土嚢上でずい道内部にコンクリートを流し込む作業をしていたところ、土嚢が崩壊し、墜落、崩れた土嚢の下敷きとなった。
18	宮古	農林業 (木材伐出業)	11月	火	男	70歳代 (10年未 満)	激突され	立木等	前日に伐倒した立木が「かかり木」になっていたことを忘れ、伐倒作業を行ったところ、「かかり木」に激突された。 平成29年2月、療養中に死亡した。
19	花巻	製造業 (鋳物業)	11月	水	男	40歳代 (1年以上 10年未満)	崩壊、 倒壊	クレーン	金棒(3.0m×3.8m、重さ:5~7t)を天井クレーンを使用して台車上に積み込む作業において、金棒を4段(2.46m)積み上げたところで崩れ、当該金棒と脇に積んでいた小型の金棒との間に挟まれた。

【表3】

平成28年死亡災害発生状況（事故の型別等）（確定値）

業種別	製造業 3人 (2人)	鉱業 0人 (0人)	建設業 7人 (8人)	運輸業 1人 (3人)	農林業 5人 (3人)	商業 2人 (1人)	左記以外 1人 (4人)	19人 (前年同期21人)
	盛岡 1人 (5人)	宮古 2人 (2人)	釜石 2人 (2人)	花巻 5人 (5人)	一関 1人 (3人)	大船渡 2人 (1人)	二戸 6人 (3人)	
事故の型別	墜落・転落 5人 (3人)	転倒 0人 (1人)	飛来・落下 1人 (1人)	崩壊・倒壊 2人 (3人)	激突され 3人 (1人)	はさまれ・巻き込まれ 3人 (3人)	切れ・こすれ 0人 (0人)	
	破裂 1人 (0人)	高温の物との接触 1人 (1人)	激突 1人 (0人)	感電 0人 (0人)	有害物等との接触 0人 (2人)	交通事故 1人 (3人)	その他 1人 (3人)	

注：（ ）内は前年同期

【表4】

平成29年1月～3月 労働災害発生状況(休業4日以上)の死傷者数

岩手労働局

業種	岩手局				盛岡署	宮古署	釜石署	花巻署	一関署	大船渡署	二戸署	
	29年	28年	増減数	増減率								
製造業	食料品	4	5	-1	-20.0%		1			3		
	上記以外の食料品	17	18	-1	-5.6%	4		7	3	1	2	
	繊維・衣服その他繊維製品	6	1	5	500.0%		2	4				
	木材・木製品、家具・装備品	10	7	3	42.9%	3	2	1	3		1	
	パルプ・紙、印刷・製本	1	1		0.0%				1			
	化学工業	4	3	1	33.3%	1			2	1		
	窯業土石製品	3	4 (1)	-1	-25.0%			2	1			
	鉄鋼業、非鉄金属	2		2				1	1			
	金属製品	7 (1)	12 (1)	-5	-41.7%	5		2				
	一般機械器具	1	1		0.0%			1				
	電気機械器具	1	2	-1	-50.0%			1				
	輸送用機械製造	4	5	-1	-20.0%			2	1	1		
	電気・ガス											
	その他の製造業	7	2	5	250.0%	3		1	2			1
小計	67 (1)	61 (2)	6	9.8%	16	5	2	25	9	6	4	
鉱業	2	3	-1	-33.3%				1	1			
建設業	土木工事	25	17 (5)	8	47.1%	4	4	6	3	1	3	4
	建築工事	鉄骨・鉄筋家屋	3	4	-1	-25.0%	1	1		1		
		木造家屋	9 (1)	21	-12	-57.1%	2		2	3	1	1
		その他の建築工事	10	3	7	233.3%	3		2	2	3	
	その他の建設	7	12 (5)	-5	-41.7%	4	2		1			
小計	54 (1)	57 (10)	-3	-5.3%	14	7	10	10	5	4	4	
運輸交通業	道路貨物運送業	26	22	4	18.2%	12	1		5	6	2	
	その他の運輸交通業	2	3	-1	-33.3%	1		1				
貨物取扱	1		-2					1				
農林業	農業	2 (1)	2		0.0%	1						
	林業	12	11	1	9.1%	5	2	1	1		3	
畜産水産業	畜産業	4	6	-2	-33.3%	1			1		2	
	水産業	4	2	2	100.0%		1			2	1	
商業	小売業	31 (2)	34 (1)	-3	-8.8%	18		2	4	4	2	1
	その他の商業	7	5	2	40.0%	4		2	2		1	
通信業	8 (5)	7 (2)	1	14.3%	3		1	1	1	1	1	
保健衛生業	社会福祉施設	26 (3)	14 (1)	12	85.7%	6	1	5	12	1	1	
	その他の保健衛生業	7 (2)	7		0.0%	4		1			2	
接客娯楽業	旅館業	3	7	-4	-57.1%	2	1					
	飲食店	2	6	-4	-66.7%	2						
	その他の接客娯楽業	9	7	2	28.6%	4		4			1	
その他	ビルメンテナンス業	10	3	7	233.3%	8			1	1		
	その他(上記以外の業種)	17 (1)	22 (1)	-5	-22.7%	6		1	4	1	1	4
合計	294 (16)	279 (17)	15	5.4%	107	18	24	71	31	19	24	
(注)平成29年3月末の速報値である。					前年同期	100	20	15	65	30	18	31
数字は死亡者数(内数)、()数字は交通労働災害(内数)である。					増減数	7	-2	9	6	1	1	-7
					増減率	7.0%	-10.0%	60.0%	9.2%	3.3%	5.6%	-22.6%

【表5】

平成29年 死亡災害発生状況 (3月31日 現在)

岩手労働局

番号	署別	業種	発生日	曜日	性別	年齢 (経験期間)	事故の型	起因物	災害発生の概要
1	宮古	建設業 (港湾海岸工事業)	1月	火	男	60歳代 (20年以上 30年未満)	激突され	移動式クレーン	クローラクレーン(200t)のジブの起伏ドラムに巻かれているワイヤーロープが乱巻きとなったので、ドラム付近で直していたところ、突然ジブが降下し、携んでいたワイヤーロープが瞬時に張り、頭部に直撃した。
2	二戸	農林業 (木材伐出業)	2月	火	男	60歳代 (10年未満)	激突され	立木等	伐木作業中の被災者が伐倒木(ナラの木、全長22.75m、胸高直径50cm)の下敷きになっているのが発見され、病院に搬送されたが脳挫傷により死亡した。
3	盛岡	接客娯楽業 (その他)	2月	火	男	50歳代 (10年以上 20年未満)	墜落、転落	建築物、構築物	マンション5階の屋上で作業中、屋上の端から地上に墜落(高さ15m)した。

【表6】

平成29年 死亡災害発生状況 (事故の型別等)

3月31日 現在

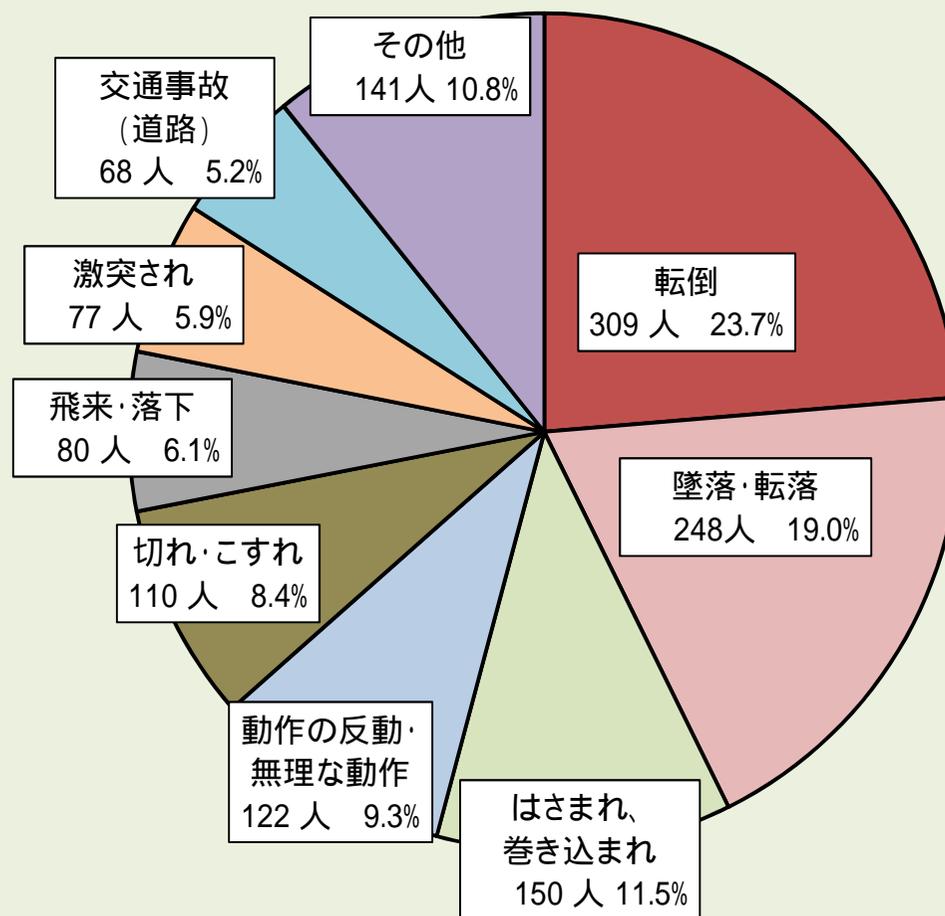
業種別	製造業 0人 (2人)	鉱業 0人 (0人)	建設業 1人 (1人)	運輸業 0人 (0人)	林業 1人 (1人)	商業 0人 (1人)	左記 以外 1人 (0人)	3人 (前年同期5人)
	盛岡 1人 (0人)	宮古 1人 (0人)	釜石 0人 (1人)	花巻 0人 (0人)	一関 0人 (1人)	大船渡 0人 (1人)	二戸 1人 (2人)	
事故の型別	墜落・ 転落 1人 (1人)	転倒 0人 (0人)	飛来・ 落下 0人 (0人)	崩壊・ 倒壊 0人 (0人)	激突 され 2人 (1人)	はさまれ・ 巻き込まれ 0人 (2人)	切れ・ こすれ 0人 (0人)	
	破裂 0人 (1人)	高温の物 との接触 0人 (0人)	激突 0人 (0人)	感電 0人 (0人)	有害物 等との 接触 0人 (0人)	交通事故 0人 (0人)	その他 0人 (0人)	

注：()内は前年同期(3月31日までに報告があったもの。)

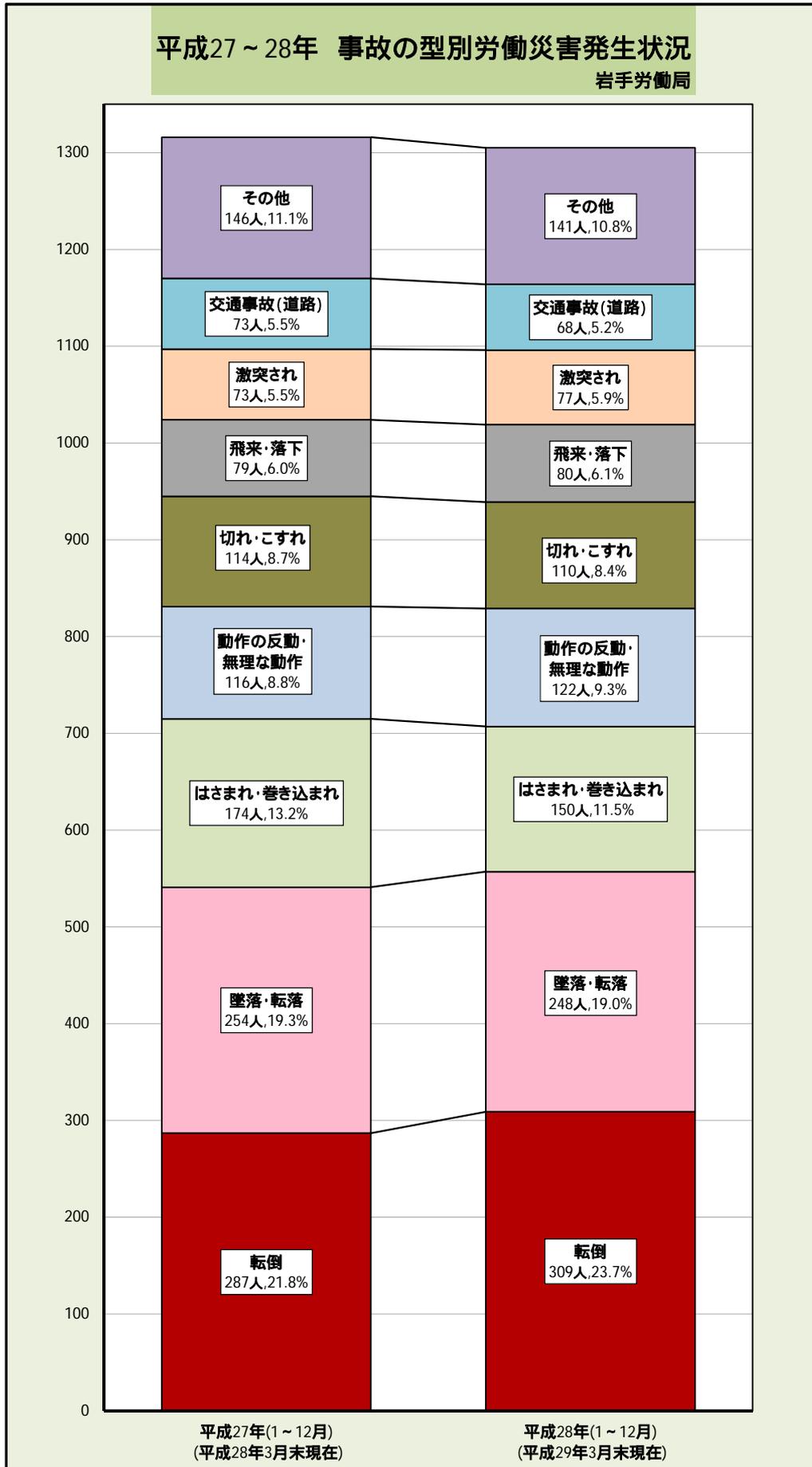
【グラフ1】

平成28年 1月～12月 労働災害発生状況（事故の型別）

岩手労働局

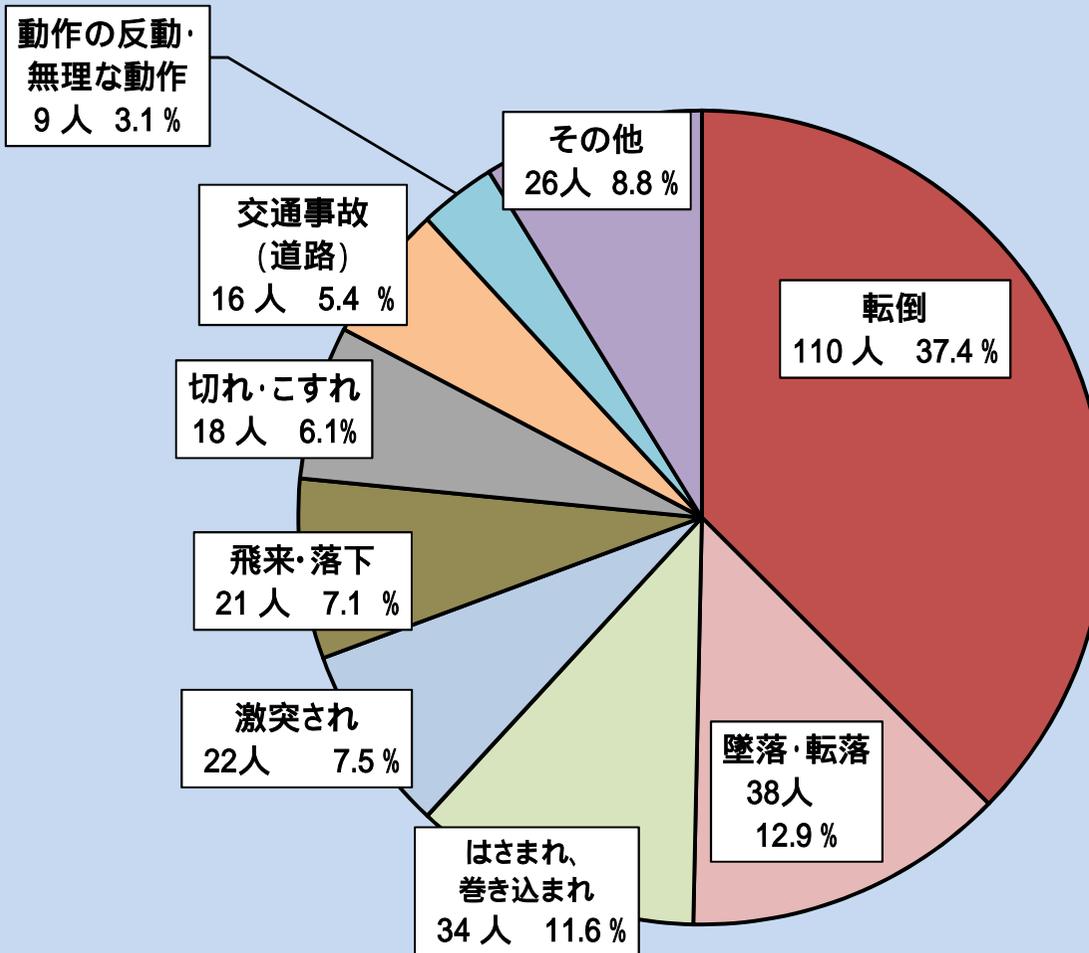


平成29年3月末の確定値である。 数字は死亡者数(内数)である。



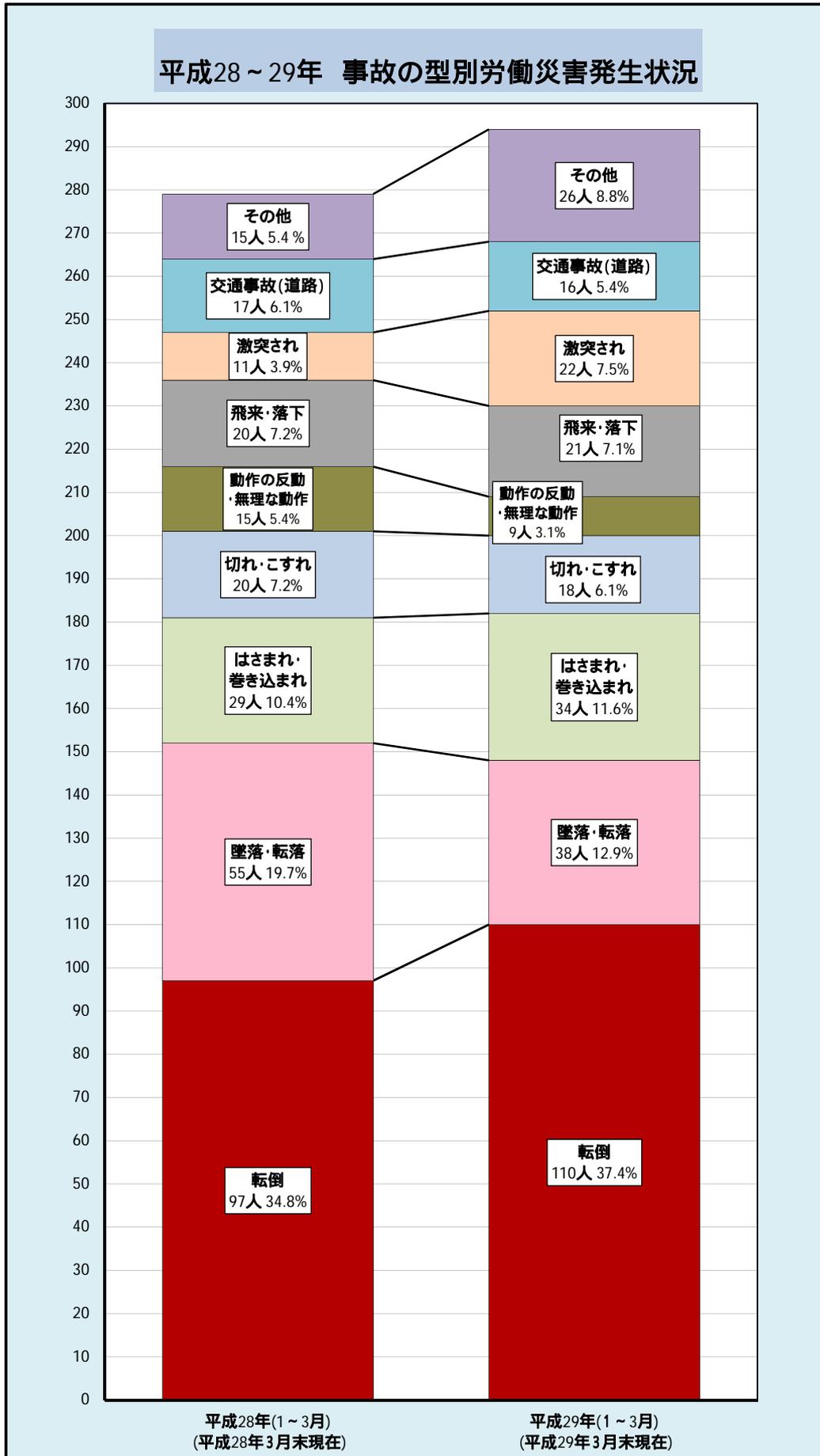
【グラフ3】 平成29年1月～3月 労働災害発生状況（事故の型別）

岩手労働局



平成29年3月末の速報値である。 数字は死亡者数(内数)である。

【グラフ4】



【参考】

平成28年 月別労働災害発生状況 (休業4日以上の死傷者数) (確定値)

岩手労働局

業種	当年累計	前年同期	対前年同期		月別発生状況												
			増減数	増減率	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
製造業	食料品	23	31 (2)	-8	-25.8%	3	1	2	1	3	2	2	3	2	2	2	
	上記以外の食料品	81	103 (1)	-22	-21.4%	7	6	10	7	3	5	7	10	6	4	11	5
	繊維・衣服その他繊維製品	13	8	5	62.5%	1	1			1	1	3	2		2	2	
	木材・木製品、家具・装備品	35	42	-7	-16.7%	5	1	2	2	2		3	2	3	4	5	6
	パルプ・紙、印刷・製本	2	5	-3	-60.0%			1									1
	化学工業	22	13	9	69.2%	3	1		3	2		3			2	3	5
	窯業土石	18 (1)	13	5	38.5%	1	2 (1)	1		1		1	4	2	4	1	1
	鉄鋼業、非鉄金属	9	5	4	80.0%				1		1	1	2	2		2	1
	金属製品	31 (1)	25	6	24.0%	7 (1)	4	3	1	2	2	1	4	1	4	1	1
	一般機械器具	8	12	-4	-33.3%	1		1	1	1	2	2	1	1			1
	電気機械器具	7	15	-8	-53.3%	2		1	1	1	1			1			1
	輸送用機械製造	15	5	10	200.0%		3	2	2	1		2	1	1		1	2
	電気・ガス	2 (1)		2										1 (1)		1	
その他の製造	15	21	-6	-28.6%	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	3	
小計	281 (3)	298 (3)	-17	-5.7%	31 (1)	20 (1)	23	21	18	15	24	26	24 (1)	24	33	22	
鉱業	7	7	0	0.0%	1	2				1	1		1	1			
建設業	土木工事	82 (10)	90 (7)	-8	-8.9%	11 (5)	7	5	7 (2)	10 (1)	7	5	4	4	7 (1)	7 (1)	8
	建築工事	鉄骨・鉄筋家屋	29 (2)	25 (3)	4	16.0%	2	2	2	1	2	6 (1)	4	4 (1)	3		3
		木造家屋	88	63 (2)	25	39.7%	8	6	11	6	7	11	6	8	5	12	2
		その他の建築工事	32 (5)	60 (2)	-28	-46.7%	1	2	2	3	4 (1)	6 (4)	4	5	2	2	1
	その他の建設	32 (2)	29 (1)	3	10.3%	3	4 (1)	2	5	1	2	4		3 (1)	4	4	
小計	263 (19)	267 (15)	-4	-1.5%	24 (5)	20 (1)	22	21 (2)	20 (1)	22 (1)	32 (5)	18	24 (2)	21 (1)	25 (1)	14	
運輸交通業	道路貨物運送業	121 (10)	142 (11)	-21	-14.8%	13	5	10	9	9 (2)	11 (2)	14	10 (4)	11	10 (1)	10 (1)	9
	その他の運輸交通業	11	17 (1)	-6	-35.3%	1	1	2			1				1	5	
貨物取扱	1	2	-1	-50.0%											1		
農林業	農業	17	4	13	325.0%			3	2	1	1	2	1	2	1	1	3
	林業	60	55	5	9.1%		7	6	5	8	3	4	3	3	7	9	5
畜産水産業	畜産業	30	42	-12	-28.6%		3	4	2	4	3	1	2		6	1	4
	水産業	12	19	-7	-36.8%	2		1		2		1	1	4		1	
商業	小売業	136 (15)	118 (12)	18	15.3%	21 (4)	13 (2)	15	13	7 (1)	10 (1)	9 (1)	15 (2)	6 (2)	10 (1)	10	7 (1)
	その他の商業	45 (4)	36 (4)	9	25.0%	4	2	1	7 (1)	5 (3)	4	6	6	2	1	3	4
通信業	17 (4)	27 (11)	-10	-37.0%	1	4 (2)	3	1	1				3 (2)		2	2	
保健衛生業	社会福祉施設	92 (4)	65 (3)	27	41.5%	10	9 (1)	3	8	5	6	11	10 (1)	8 (1)	12 (1)	2	8
	その他の保健衛生業	18	31	-13	-41.9%	7	3				1	3		2	1	1	
接客娯楽業	旅館業	25	16 (1)	9	56.3%	4	2	3		3		2	1	1	5	1	3
	飲食店	30	34	-4	-11.8%	2	2	4		5	1	4	3	3	4	1	1
	その他の接客娯楽業	21	22	-1	-4.5%	2	3	2	2	1	2	3	1	1	2	2	
その他	ビルメンテナンス業	26	33 (1)	-7	-21.2%	3		1	3	3	2	4	2		2	2	4
	その他(上記以外の全ての業種)	92 (9)	81 (11)	11	13.6%	12 (1)	9	5	6	10 (1)	2	5 (1)	4	7 (1)	9 (2)	11 (1)	12 (2)
合計	1,305 (68)㉑	1,316 (73)	-11	-0.8%	138 (11)	105 (7)	108	100 (3)	102 (8)	85 (4)	123 (7)	105 (7)	102 (9)	116 (6)	116 (3)	105 (3)	

(注) 労働者死傷病報告による休業4日以上の統計である。 内は死亡者数(内数)である。()内は交通労働災害者数(内数)である。

【参考】

平成29年 月別労働災害発生状況 (休業4日以上)の死傷者数

(平成29年3月末統計)

岩手労働局

業種	当年累計	前年同期	対前年同期		月別発生状況											
			増減数	増減率	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
製造業	食料品	4	5	-1	-20.0%		3	1								
	水産食料品	17	18	-1	-5.6%	4	7	6								
	上記以外の食料品	6	1	5	500.0%	3	3									
	繊維・衣服その他繊維製品	10	7	3	42.9%	4	4	2								
	木材・木製品、家具・装備品	1	1		0.0%			1								
	パルプ・紙、印刷・製本	4	3	1	33.3%	2	2									
	化学工業	3	4 (1)	-1	-25.0%	1		2								
	窯業土石	2		2		1		1								
	鉄鋼業、非鉄金属	7 (1)	12 (1)	-5	-41.7%	2	4	1								
	金属製品	1	1		0.0%	1										
	一般機械器具	1	2	-1	-50.0%		1									
	電気機械器具	4	5	-1	-20.0%	1	1	2								
	輸送用機械製造	7	2	5	250.0%	2	2	3								
電気・ガス その他の製造	67 (1)	61 (2)	6	9.8%	21	27	19									
小計																
鉱業	2	3	-1	-33.3%	1	1										
建設業	土木工事	25	17 (5)	8	47.1%	7	12	6								
	建築工事	鉄骨・鉄筋家屋	3	4	-1	-25.0%	1	2								
		木造家屋	9 (1)	21	-12	-57.1%	3 (1)	2	4							
		その他の建築工事	10	3	7	233.3%	3	3	4							
	その他の建設	7	12 (5)	-5	-41.7%	4	2	1								
小計	54 (1)	57 (10)	-3	-5.3%	18	21	15									
運輸交通業	26	22	4	18.2%	13	8	5									
道路貨物運送業	2	3	-1	-33.3%	2											
その他の運輸交通業	1		-2			1										
貨物取扱	2 (1)	2		0.0%	2 (1)											
農林業	12	11	1	9.1%	4	8										
農業	4	6	-2	-33.3%	1	2	1									
林業	4	2	2	100.0%	2	2										
畜産	31 (2)	34 (1)	-3	-8.8%	16 (2)	12	3									
水産業	7	5	2	40.0%	4	2	1									
商業	8 (5)	7 (2)	1	14.3%	6 (3)		2 (2)									
小売業	26 (3)	14 (1)	12	85.7%	14 (2)	9	3 (1)									
社会福祉施設	7 (2)	7		0.0%	2	4 (2)	1									
その他の保健衛生業	3	7	-4	-57.1%	1	1	1									
接客	2	6	-4	-66.7%		2										
旅館業	9	7	2	28.6%	3	6										
飲食店	10	3	7	233.3%	1	7	2									
その他の接客娯楽業	17 (1)	22 (1)	-5	-22.7%	8	5	4 (1)									
ビルメンテナンス業	10	3	7	233.3%	1	7	2									
その他(上記以外の全ての業種)	294 (16)	279 (17)	15	5.4%	119 (10)	118 (2)	57 (4)									
合計																

(注) 労働者死傷病報告による休業4日以上)の統計である。 内は死亡者数(内数)、()内は交通労働災害(内数)である。